

No.18-101

2018年11月27日  
エーザイ株式会社

## 第41回サンアントニオ乳がんシンポジウムにおいてエリ布林(ハラヴェン®)に関する演題を発表

エーザイ株式会社(本社:東京都、代表執行役 CEO:内藤晴夫)は、2018年12月4日から8日まで米国サンアントニオで開催される「第41回サンアントニオ乳がんシンポジウム(San Antonio Breast Cancer Symposium: SABCS2018)」において、当社が創製したエリ布林メシル酸塩(ハリコンドリン系微小管ダイナミクス阻害剤、製品名:「ハラヴェン®」、以下 エリ布林)に関する最新情報を発表することをお知らせします。

本学会では、エリ布林と Merck & Co., Inc., Kenilworth, N.J., U.S.A. (米国とカナダ以外では MSD) の抗 PD-1 抗体ペムブロリズマブ(製品名:「キイトルーダ®」)との併用における転移性トリプルネガティブ乳がんを対象とした臨床第Ⅱ相試験でのバイオマーカー研究の結果など、ポスター4演題が発表されます。

当社は、がん領域を重点領域の一つと位置づけており、がんの「治癒」に向けた革新的な新薬創出をめざしています。最先端のがん研究から革新的な創薬を行い、がん患者様とご家族、さらには医療従事者の多様なニーズの充足とベネフィット向上に、より一層貢献してまいります。

## ■SABCS2018における主なポスター発表演題

製品・化合物	発表演題・予定日時(現地時間)
エリ布林 演題番号: P5-12-02	転移性トリプルネガティブ乳がんに対する免疫チェックポイント阻害剤の効果予測因子としての PTEN 遺伝子変異および腫瘍変異量の可能性 ポスター発表:12月7日(金) 5:00-7:00PM
エリ布林 演題番号: P5-08-06	重要な転写因子である Snail と Slug* に対するエリ布林の作用の違い ポスター発表:12月7日(金) 5:00-7:00PM
エリ布林 演題番号: P6-17-28	HER2 陽性転移性乳がんに対するエリ布林+トラスツズマブ併用療法のリアルワールドにおける結果について ポスター発表:12月8日(土) 7:00-9:00AM
エリ布林 演題番号: OT2-07-05	HER2 陽性進行・再発乳がんにおけるエリ布林メシル酸塩+トラスツズマブ+ペルツズマブ併用療法と、パクリタキセルあるいはドセタキセル+トラスツズマブ+ペルツズマブ併用療法を比較検討する臨床第Ⅲ相試験(JBCRG-M06/EMERALD)の試験デザイン ポスター発表:12月6日(木) 5:00-7:00PM

\*Snail, Slug: 上皮間葉転換(がんの転移や浸潤に関わる細胞の形質変化)を制御する主要な転写因子

以上

キイトルーダ®は Merck & Co., Inc. Kenilworth, N.J., U.S.A.の子会社である Merck Sharp & Dohme Corp の登録商標です。